

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823006	学習指導と学校図書館 Learning Guidance and School Library	河合 龍二			2	選択	1, 2後期

科目の概要

学校図書館は「教育課程の展開に寄与」するため、児童生徒の主体的な学びを支える様々な情報資源を収集し、利用に供している。本科目では、学校図書館がもつ「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能を活かし、児童生徒の学習支援を効果的に行えるようにするため、学校司書として必要な知識や技能を身に付ける。
学校図書館を活用した授業や情報活用能力育成の実践事例を紹介し、授業者への支援や授業者と協働した指導の方法を見出せるようにする。(ディプロマ・ポリシー②③④⑥)

学修内容	到達目標
① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を理解する。 ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディア選択のための知識・技能を身に付ける。 ③ 学習指導における学校図書館の活用方法を知り、学校司書の役割を認識する。 ④ 児童生徒の情報活用能力を育てる学校図書館の役割と指導方法を理解し、学校司書の役割を認識する。	① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③⑥) ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディアを選択できる。(ディプロマ・ポリシー②④) ③ 学校図書館を活用した授業実践事例から学校司書の役割と具体的な支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ④ 児童生徒の情報活用能力育成に係る学校司書の役割と具体的な指導・支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	課題や授業で紹介した参考資料について、積極的に図書館等で調べ、学習指導案を作成することができる。
	働きかけ力	
	実行力	よりよい模擬授業となるよう積極的に先行事例を調べアレンジする。よりよいブックトークとなるよう、積極的に情報収集したり、児童図書を読んだりして、選書や構成を熟慮したシナリオを作成することができる。
考え抜く力	課題発見力	学校図書館のあるべき姿と現状とを比較することで、学校図書館が抱える課題について客観的に捉えることができる。
	計画力	期日までに学習指導案ができるよう計画的に進めることができる。
	創造力	教科等の学習内容に対し、多角的に学校図書館の支援を考えることができる。
チームで働く力	発信力	相手意識、目的意識をもって発表することができる。
	傾聴力	他者の発言や発表をよく聴き、質問・感想・アドバイスを言うことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキストは使用しない。毎回配付するプリントをテキストとする。
 参考文献：「探究 学校図書館学 第3巻 学習指導と学校図書館」全国学校図書館協議会 2020年
 「思考を深める探究学習 アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館」桑田てるみ著
 全国学校図書館協議会 2016年

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館、学校司書に関する科目全て
 資格との関連：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

科学絵本、科学読み物、調べ学習向けの図書、ブックリストを公共図書館などで積極的に探し、内容を確認しておく。学校司書として選書する際の知識や技能を高めることができる。個人でブックトークを体験してもらおう。帯活動としてリーディングスキルを高めるトレーニングを継続する。成果をあげよう。	学校司書としての実践力を育成する。グループワークで学習指導案を作成し、模擬授業を行う。もっとも大切なのは欠席しないこと。他のメンバーと連携しつつ、自らの役割を果たそう。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	筆記試験では、学校図書館を活用した学習指導・支援に関する専門用語の理解と授業で学んだ内容についての理解度を問う論述問題を出題する。 評価ポイント ①学校図書館活用に関わる専門用語の理解 ②学習指導において学校図書館を活用することの意義についての理解 ③学習内容と関連したブックトークの際に留意すべきことについての理解 ④授業計画立案、授業の際の児童生徒及び教職員への具体的な支援についての理解 ⑤探究の過程に沿った児童生徒への具体的な指導・支援についての理解
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
	小テスト		0	①		
				②		
				③		
				④		
	平常評価	レポート	10	①	✓	毎回振り返りを記述した授業シートを提出する。授業シートはポートフォリオとして蓄積しておく。 評価ポイント 授業の内容を的確に捉え、考察できている。
				②	✓	
③				✓		
④				✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		・具体的な学習指導場面を想定し、児童生徒の関心意欲を高めたり、学習への理解を深めたりする。学習指導案を作成し、模擬授業をする。 ・PCを使って、ブックトークのシナリオを作成、実演をする。ブックトークを聞き合い、感想や気付きを振り返りシートに記入して提出する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	・主体性：課題に対し図書館等を利用し、調べることができる。 ・実行力：教材やねらいに合ったブックトークの選書ができている。 ・課題発見力：各回の授業の振り返りの際、学校図書館が抱える課題や学校司書のあるべき姿を考察できている。 ・計画力：ブックトークの準備を期日までに計画的に進めることができる。 ・創造力：具体的な学習指導場面を想定し、学校司書としての多様な支援方法を考えることができる。 ・発信力：相手意識、目的意識をもって、ブックトークの実演をすることができる。 ・傾聴力：他者の発言や発表をよく聴き、反応できる。 ・規律性：遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が9割以上。 ・自ら作成した学習指導案をもとに、模擬授業を全うして成果をあげた。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による聴き手をひきつける実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 A (優) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が8割以上。 ・自ら作成した学習指導案をもとに、模擬授業をできた。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。	B (良) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が7割以上。 ・学習指導案の作成や模擬授業で努力した。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 C (可) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が6割以上。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 学習指導と学校司書の役割 現代の教育課題と学校図書館	講義・グループワーク ・多様な教育課題と児童生徒の学びを支える学校図書館の機能と役割について学ぶ。 ・学校図書館法を読む。 ・日本十進分類について調べ、第1次区分を暗記する。	今後の学校教育の方向性と学校図書館の機能と役割を説明できる。	(復習) ・学校図書館の利用指導の具体的な内容を整理する。 ・「学校図書館ガイドライン」、現行学習指導要領改訂時の中教審答申(概要)を読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	教育課程と学校図書館	講義・グループワーク ・学習指導要領の内容を確認しながら、教育課程の展開における学校図書館を活用した読解力、情報活用能力について学ぶ。	学習指導要領総則、PISA調査における読解力の定義について理解できる。	(予習) 学習指導要領総則とは何かについて調べる。 (復習) 各科目のねらいと情報活用能力を生かす場面について理解を深める。	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
3	学校図書館メディアと情報サービス	講義・グループワーク 発達段階に応じたメディアの選択と児童生徒、教職員への情報サービスについて学ぶ。	・学習指導要領の内容を確認しながら、教育課程の展開における学校図書館を活用した読解力、情報活用能力について理解できる。	(予習) 図書館の情報センター機能とは何かについて調べる。 (復習) 学習内容を学校現場で生かす工夫を提案できる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
4	全体計画とカリキュラム・マネジメント	講義・グループワーク 児童生徒に身に付けさせたい力に基づく計画の作成とカリキュラムの編成について学ぶ。	平成28年度中央教育審議会答申を中心に、教科横断的な取組の重要性や不断の授業改善(PDCAサイクル)について理解できる。	(予習) 自身のこれまでの学校図書館を活用した調べ学習やレポート作成の経験を振り返る。 (復習) 小学校、中学校いずれかの学習指導要領「総合的な学習の時間」解説を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
5	学校図書館を活用した授業の実践事例	講義・グループワーク 事例をもとに、具体的な学校図書館の活用法と、学校司書による児童、生徒及び教職員への支援方向を学ぶ。	各教科における学校図書館の活用場面を明確にできる。	(予習) 自身のこれまで受けた授業について、そのねらいが何だったかまとめる (復習) 他の学生の体験と照らし合わせて、児童生徒の興味をかきたてる工夫をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
6	学習指導案作成Ⅰの① (小学校の学習指導支援) 実践事例調べ	講義・グループワーク 個人あるいはグループ内で役割分担をし、素案を作成する。	・学年と科目に応じたねらいを知り、教材(ブックトークのシナリオ等)をつくることができる。	(予習) 「幼小接続」とは何かについて調べる。 (復習) 探究学習における課題設定時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習指導案作成Ⅱの① (中学校の学習指導支援) 実践事例調べ	講義・グループワーク 個人あるいはグループ内で役割分担をし、素案を作成する。	・学年と科目に応じたねらいを知り、教材(ブックトークのシナリオ等)をつくることができる。	(予習) 「言語活動」とは何かについて調べる。 (復習) 探究学習における課題設定時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
8	学習指導案作成Ⅲ (高校の学習指導支援) 実践事例調べ	講義・グループワーク ・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・授業のねらいを達成すべく、教材(P.P資料を含む)を工夫する。	・学年と科目に応じたねらいを知り、教材(ブックトークのシナリオ等)をつくることができる。	(予習) 「思考ツール」とは何かについて調べる。 (復習) 探究学習における課題設定時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学習指導に生きるブックトーク (個人実演)	発表 ブックトークの実演を聞き合い、感想等を交流する。 発表への口頭によるフィードバック	ブックトークの実演をするとともに、ブックトークを聞き合った感想等を交流できる。	(予習) ブックトーク実演の練習をしておく。 (復習) ブックトークの実演を通じて得た気づきをもとに今後の学びへの課題を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
10	学習指導案作成Ⅰの② (小学校の学習指導支援) 略案作成と教材の工夫	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・SNSや書籍で実践例を調べ、アレンジする。 ・思考が停滞したらNotebookで活性化する。 ・科目は問わない。個別の支援方法まで考慮する。	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成できる。 ・授業のねらいを達成すべく、教材(P P資料を含む)を工夫できる。	(復習) ・協働して略案を作成する。 ・教材を工夫する。 (予習) 模擬授業のリハーサルをする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	教員と学校司書との連携(小学校)の前半 ・学校図書館を活用した授業導入(ブックトークを含む)	・模擬授業(導入部分)を10~15分程度で発表する。 ・生徒役の学生は、ルーブリックに基づき評価する。	・模擬授業(導入部分)の工夫を発表できる。 ・自己評価及び他者評価を、就職後に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。 (予習) ブックトークの準備を進める。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性
12	教員と学校司書との連携(小学校)の後半 ・学校図書館を活用した授業導入(ブックトークを含む)	・模擬授業(導入部分)を10~15分程度で発表する。 ・生徒役の学生は、ルーブリックに基づき評価する。	・模擬授業(導入部分)の工夫を発表できる。 ・自己評価及び他者評価を、就職後に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。 (予習) ブックトークの準備を進める。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性
13	学習指導案作成Ⅱの② (中学校の学習指導支援) 略案作成と教材の工夫	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・SNSや書籍で実践例を調べ、アレンジする。 ・思考が停滞したらNotebookで活性化する。 ・科目は問わない。個別の支援方法まで考慮する。	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成できる。 ・授業のねらいを達成すべく、教材(P P資料を含む)を工夫できる。	(復習) ・協働して略案を作成する。 ・教材を工夫する。 (予習) 模擬授業のリハーサルをする。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	教員と学校司書との連携(中学校)の前半 ・学校図書館を活用した授業導入(ブックトークを含む)	・模擬授業(導入部分)を10~15分程度で発表する。 ・生徒役の学生は、ルーブリックに基づき評価する。	・模擬授業(導入部分)の工夫を発表できる。 ・自己評価及び他者評価を、就職後に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(予習) ブックトーク等の準備を進める。 (復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	教員と学校司書との連携(中学校)の後半 ・学校図書館を活用した授業導入(ブックトークを含む)	・模擬授業(導入部分)をする。 ・生徒役の学生は、ルーブリックに基づき評価する。	・模擬授業(導入部分)を提案することができる。 ・自己評価及び他者評価を、就職後に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(予習) ブックトーク等の準備を進める。 (復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力